

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	基礎演習 II		
担当者(Instructors)	手嶋 慎介	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

(1)身近な関心事から課題を見つけて問題解決型の学習を行う。(2)ゼミメンバーと意見交換やゼミ発表を通じて大学内の人間関係を構築する。(3)1年次後期の学習結果をまとめて発表する。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身につける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。原則、対面授業であるが、複数回リモート授業を行う可能性がある。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	前期・夏休みの総括と後期の学習計画	前期・夏休みの総括と後期の学習計画を作成する。大学祭など、学内行事への参加を検討します。	<input type="checkbox"/>
第2回	コミュニケーションプログラム	基礎演習のメンバーの相互のコミュニケーションをします。	<input type="checkbox"/>
第3回	テーマ設定学習 (課題検討)	身近な関心事から問題解決型の学習をします。前期の経験を踏まえて発表テーマを再検討します。	<input type="checkbox"/>
第4回	テーマ設定学習 (課題決定)	身近な関心事から問題解決型の学習をします。発表テーマの検討を通じて発表内容を確定します。	<input type="checkbox"/>
第5回	テーマ設定学習 (内容準備)	身近な関心事から問題解決型の学習をします。発表テーマの検討を通じて発表内容を準備します。	<input type="checkbox"/>
第6回	演習内テーマ発表会	テーマ発表会を実施します。各自の発表内容の優秀な点を学びます。	<input type="checkbox"/>
第7回	レポート・発表準備【1】【学習テーマの設定】	レポート・発表の準備をする。レポートテーマを設定する。	<input type="checkbox"/>
第8回	レポート・発表準備【2】【資料調査】(ゼミ内検討会)	レポート・発表の準備をする。レポートテーマに関して資料調査を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	レポート・発表準備【3】【仮説の設定】(ゼミ内検討会)	レポート・発表の準備をする。レポートのテーマに関する仮説を設定する。	<input type="checkbox"/>
第10回	レポート・発表準備【4】【中間報告】	レポート内容についてゼミ内で中間報告会を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	レポート・発表準備【5】【レポートの執筆】	レポート内容の点検と再検討事項を指示する。	<input type="checkbox"/>
第12回	演習内の発表大会【ゼミ内最終報告】【レポート報告】	演習内で発表し、プレゼン代表者を決定する。【ゼミ内最終報告】【レポート提出】【4,000字】	<input type="checkbox"/>
第13回	総合演習説明会【1】(全体で実施)	総合演習の選択方法、および、各先生から総合演習の内容説明を聞き、面談に備える	<input type="checkbox"/>
第14回	総合演習説明会【2】(ゼミ別で実施)	総合演習の面談に行き、その後、登録を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	レポート・発表コンテスト	後期の成果報告会を行う。レポート・発表コンテストについて優秀者を表彰する。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

基礎演習は主体的に積極的に参加することが重要です。授業を受ける前には、事前に指示された課題に取り組むこと(2時間程度)。また授業後に学習した内容をまとめること及び提出課題を作成すること(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で取り組んだ内容や課題について、次回の授業内でプレゼンテーションすること。またディスカッションすることを通じて相互にフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	4年間の学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得・経験しながら専門知識を育み、それを活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	課題についての確に判断し、自在に表現・発信するために、基礎学力を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的にレポート等をまとめることができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	少人数の演習形式において主体的に他者と協働して問題を解決し、多様な人々とのかわり中で自己を理解することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
<p>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</p> <p>レポート・発表</p>				

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		